

最新情報を手に入れよう!

▶ 経済学部ホームページ

URL www.kansai-u.ac.jp/Fc_eco/

経済学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには、「経済学部ホームページ」をご確認ください。

ゼミでの研究テーマを紹介する「ゼミPRESS」や「3分でわかる新カリキュラム」など、学びの魅力に触れられるコンテンツが充実しています。



▶ 関西大学入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

URL <https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

入試関連イベントの情報や最新情報など受験生を応援するコンテンツが満載! イベント情報以外にも、研究紹介、学生インタビューなども随時更新しています。



パソコン・スマートフォン
どちらからでも
アクセスできます。

1 イベント情報 入試イベントの詳細を掲載!



オープンキャンパスや入試説明会など、入試イベントの最新情報と参加メリットをいち早くお伝えします。受験生は必見!

2 入試情報 関西大学の入試日程やポイントをチェック!



学部別・日程別などで入試情報をわかりやすく紹介します。入試シーズンは志願者・合格者数速報を掲載。

3 キャッチ! Kan-Daiニュース 関西大学の最新ニュースをお届けします。



関西大学に関するニュースをまとめました。最新情報をキャッチしよう!(隔週更新予定)

4 関西大学入試センター ×LINE公式アカウント



入試関連イベントや関大生の学生生活など、役立つ情報をお届けします。2次元コードを読み取って、「友だち追加」をしてください。

5 動画で見る関西大学



入試センター公式YouTubeでは大学紹介ムービーのほか、研究やキャンパスの魅力などさまざまな動画を見ることができます。

6 関西大学入試センター 公式Instagram



各種イベントやキャンパス風景などを切り取った写真・動画を、関西大学の魅力を発信します。

学部案内 2022

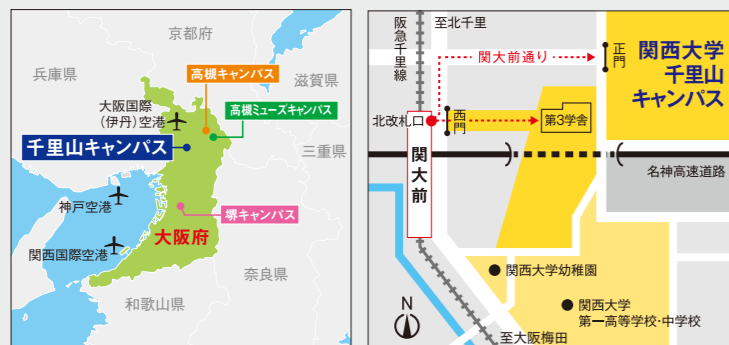
関西大学



経済学部

経済学科

- 経済政策コース
- 歴史・思想コース
- 産業・企業経済コース
- 国際経済コース



大阪(大阪梅田)からのアクセス
阪急電鉄「大阪梅田」駅から「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)。すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス
阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車。「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス
Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス
JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス
大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

関西大学経済学部では 各々の興味・関心に応じた 4つのコースを提供しています

学部長からのメッセージ

学生のニーズにあった多様な学びをサポートします

関西大学経済学部では、専門科目を導入・基本・展開科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるプログラムを導入しています。具体的には、1年次は比較的身近な教養科目、語学・専門科目をバランスよく履修・習得し、その後に専門科目を深く学べるような授業体系となっています。また、3・4年次に履修するゼミナールや卒業論文は、授業で身に付けた知識や技能を生かす実践科目として位置付けています。

大学4年間を通じて、教員や他学生との密接な交流を経て、自らの思考力を高めると同時に社会で活躍するために必要な協働する力を養います。海外留学や資格取得などにも挑戦しやすい環境で、学生一人ひとりが希望する多様な学びをサポートする体制が整っています。

経済学部長 北原 聡 教授



経済政策コース

財政、社会保障、雇用、地方創生など政府活動に関わる問題を考察します。消費税、年金、東京一極集中の是正など政府の政策は個人の生活、経済全体に大きな影響を及ぼします。また、環境問題など市場に任せていては解決が難しい問題に対しては政府の役割が欠かせません。このようなさまざまな社会問題に対処する政府の経済政策を学びます。

学びのキーワード

- 少子高齢化
- 年金
- ふるさと納税



理論と分析を通して財政を学ぶことで、 自身の生活とのつながりを実感しています

ミクロ・マクロ経済学といった基礎的な理論をベースに、行政が主導する経済活動について学んでいます。「公共経済学」という講義では、行政の財源である税について学習し、法人税や消費税といった税金が徴収される根拠や税率の基準、税の使い道について理論的に読み解いていきます。ゼミでは、行政の財政赤字をテーマに、少子高齢化による影響や子育て支援に関する新たな税制度の整備について研究しています。私たちの生活とは縁遠く感じることもある行政ですが、携帯電話料金の新プランから将来もらえる年金の受給額まで、身近な問題に深く関係していることを実感しています。

4年次生 阿山 奈緒さん

歴史・思想コース

経済や社会思想が発展してきた過程を歴史的に考察します。例えば、大阪には江戸時代、世界に先駆けて先物取引市場を整備した堂島米会所がありました。現代の経済社会は歴史の上に成り立っています。過去を知ることで、現代経済の問題を解決するための新たな糸口を模索します。

学びのキーワード

- 日本の近代化
- 資本主義
- 植民地



過去の歴史や経済思想に学ぶことで、 現在・未来における発展の道を探ります

日本・世界の歴史と経済思想について学び、現代の社会や経済の発展に生かす手段を考えます。例えば、政府が市場に介入すべきか否かなど、さまざまな流派に分かれる経済思想について掘り下げるうちに、それらが日本や世界の経済にいかにか影響しているかを実感できるようになりました。ゼミではルソー（18世紀の学者）が唱えた「一般意志」という概念をもとに、現在の高度情報化社会の問題点や課題について学んでいます。SNSのような今日的なテーマについても、歴史や過去の思想をベースに捉えることで、課題や将来性を具体的に考えられるようになりました。

4年次生 中川 風音さん

産業・企業経済コース

企業はビジネスの現場においてモノ・サービスを提供したり、労働者を雇用したり、設備に投資したりと経済活動において重要な役割を果たしています。ビジネスの現場で起きているさまざまな現象の本質を読み解くために、企業の行動原理やビジネスデータを分析・活用する方法を学びます。

学びのキーワード

- マーケティング
- 地域経済の活性化
- キャッシュレス



身近な地域と企業の関係性について、 具体的に読み解いていきます

経済活動の主体である企業の戦略的行動や、その行動が地域経済の発展に及ぼす影響について学んでいます。ゼミでは、ものづくり企業が集中する東大阪市や、工場群が立ち並ぶ阪神工業地帯といった身近な地域を研究対象とし、企業がそこで活動するメリットや地域性を生かした事業展開について、経済学の理論を用いながら客観的に分析しています。工場見学を通じ企業に直接向くことで、思いもよぬ発見につながることもあります。地域貢献や環境保全など、収益だけでなくとどまらない企業活動について知るうちに、企業と地域の関係性についてより多角的に捉えられるようになりました。

4年次生 和田 虹輝さん

国際経済コース

ヒト・モノ・サービス・カネが国や地域を越えて移動するグローバル社会を考察します。モノの移動を考える国際貿易、カネの移動を考える国際金融など世界経済の仕組みを理解するとともに、経済発展著しい中国・インドなど個別の国の経済事情を学びます。

学びのキーワード

- 貿易摩擦
- SDGs（持続可能な開発目標）
- 移民・難民



世界各国の経済を掘り下げ、 比較することで新しい発見につなげます

日本、中国、欧州など国や地域ごとに異なる経済発展のプロセスを掘り下げ、国際関係や歴史的経緯が経済に与える影響の比較を行います。輸出入のバランスや関税といった国家間のつながり方が米中貿易摩擦といった経済対立を引き起こす仕組みに関心をもっています。ゼミではアジアについて学んでいます。ASEANには日本より個人所得の高いシンガポールや経済が急成長しているベトナムなど多様な国が加盟しています。また、台湾がIT技術と政府の迅速な主導で新型コロナウイルス感染症の封じ込めに成功した例など、他国の長所と比べることで、日本経済の課題をより客観的に把握できるようになりました。

4年次生 新堂 佑弥さん

経済学部 ってどんなところ？

現役学生による座談会

経済学と聞くと、なんとなく難しそう？

実際に経済学部で学ぶ先輩にいろいろと聞いてみました

Q1 なぜ経済学部を選んだ？



生きる上で欠かせない、
経済に関する知識を習得したい

本田 高校時代に経済学と心理学が融合した「行動経済学」の存在を知り、興味をもつようになりました。生きる上で欠かせないお金をはじめとする経済活動について学びたいと思い、経済学部を志望しました。

後藤 私も同じです。大学だけでなく社会に出ても役立つお金や経済の知識について、基礎から応用まで幅広く学び、専門性を高めることができる点に魅力を感じました。

西浦 私は歴史が好きで、歴史上のさまざまな出来事を研究テーマとして取り扱えることが経済学部を志望した理由です。また基礎知識を広く学んだ上で、専門知識を深められるバランスの良さにも魅力を感じました。

溝端 人生に役立つという点は、経済学を学ぶ大きなメリットのひとつです。金融や株の知識はもちろん、皆さんがゲームに課金することから、募金やボランティアを行うことまで、幅広いテーマが研究対象になり得る点も経済学の特徴です。

Q2 経済学のおもしろいところは？



物事を客観的に捉え、
柔軟に読み解く力が身に付いた

本田 高校時代から興味をもっていた株取引について、学問的な裏付けのもとに学べる点に魅力を感じています。株について学ぶことは、単に売買で利益を出すだけでなく、就職活動で企業を選ぶ際にも役立つと思います。

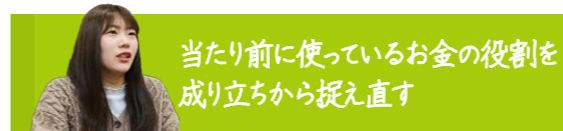
後藤 私は新聞やニュースでよく目にする株価やGDPといったテーマについて、統計学の手法を用いて分析する方法を学びました。物事を客観的に捉え、柔軟に読み解いていく力が身に付くと思います。

西浦 経済学部は数学が必要、というイメージがあるかもしれませんが、日本や世界の経済史など、高校での学びをより深めるような科目もあります。高校時代は暗記していただけの出来事も、その背景やそこから派生した事件などを学び、深掘りできる点が魅力です。

溝端 経済学の論文には難しい数式が使われることもありますが、社会の動きやお金の流れは人の営みから生まれるものです。データの分析や数学的なアプローチと同様に、歴史やさまざまな現象に興味をもつことも、経済学の重要な観点といえますね。



Q3 特に興味をもっている分野は？



当たり前に使っているお金の役割を
成り立ちから捉え直す

後藤 統計データを使って経済的な現象を読み解く「経済統計学」という科目に興味をもっています。毎回、講義の冒頭で新聞記事を取り上げ、そのニュースの見方やポイントについて教わった上で、関連するデータを細かく分析していきます。身近なニュースを通して、社会・経済の在り方を深く考察する力が養われていくことを実感しています。

溝端 世の中の出来事をいち早く察知し、その背景を読み取ったり、そこにある数値を正確に解析するといったことは、社会に出たときに生かせることの一つですね。

本田 「金融経済論」という科目を履修したことをきっかけに、それまで漠然と捉えていた金融の面白さが分かるようになりました。資産や利子、企業金融といった基礎知識を学んだことで、他の金融関連の科目についての理解もより深まりました。

西浦 私は「政治経済学」の講義で、社会の中にお金が誕生した経緯や、その後の貨幣経済や金融の発展プロセスについて学んだことがとても面白く感じました。普段、当たり前に使っているお金の歴史や、銀行の役割が理解できるようになりましたし、就職活動で企業の資産について説明された際にもスムーズに理解することができました。

後藤 日本銀行の職員の方を講師に招いた講義もとても面白かったです。日本銀行の役割や組織の仕組み、経済情勢を鑑みた動きなど、実際に働いている方から何うお話は非常に貴重でした。

溝端 学問として研究したことを世の中の動きに結び付けることは専門家にも難しいことですが、皆さんは大学で学んだことを就職や自身の将来の生活にうまくつなげようとしていますね。この先社会に出た後、一人ひとりがどのように活躍されていくのか、今からとても楽しみです。

今回座談会に参加してくれたメンバー



4年次生
本田 晴久さん



2021年3月卒業
西浦 まゆさん



4年次生
後藤 武人さん



経済政策コース
溝端 泰和 准教授

後藤 ゼミ活動では環境経済学について学んでいます。経済学の知識を踏まえた上で、企業が排出するCO₂や包装容器のデポジット制度、再生可能なエネルギーなどを取り上げ、持続可能な社会に結びつく研究ができる点にやりがいを感じています。

西浦 所属するゼミでは、個人の自由が尊重されており、どのようなテーマを扱ってもよいため、自身の研究テーマを決める際には苦労しました。グループで議論を重ね、自分たちが興味をもって取り組めて、かつ学んだことを生かせるテーマを見つけるまでには時間がかかりました。

溝端 どんな学問でも新たな研究テーマを考えるのは難しく、対象となる分野が幅広い経済学では尚更です。しかし、ゼミ活動では少人数でグループを組み、ディスカッションを通して打開策を見つけ出せます。その後もグループで協力しながら自主的に研究を進められる点がゼミ活動の意義であり、面白さでもありますね。

経済学部独自の留学制度 GoLDプログラム

ビジネスの市場が国境を超えて広がる昨今、世界で活躍できるスキル・感覚を身に付けた人材が社会で求められています。経済学部では、2009年に学部独自の留学プログラムであるGoLDプログラム(Global Leadership Development Program)をスタートしました。一般的な留学と同様に、語学力の向上が目的となるのはもちろんですが、具体的な特色として以下が挙げられます。

外国語を用いて経済学を学び、経済学に関する知識やスキルを身に付けます

現地企業等へ訪問し、他国のビジネスの現場に触れることができます

本学と連携している現地大学にて講義を受け、現地学生とディスカッションができます

現地大学の学生との交流や多様なアクティビティを通じ、異文化社会を体感します

また現地に精通した教員が引率し、留学自体が初めての学生に対してのサポートも手厚く行います。

留学先実績

30～40日間のプログラム

ニュージーランド／オークランド工科大学

- 英語でニュージーランドの社会や経済を学び、ビジネス英語を学びます
- ニュージーランド航空本社でキャリアガイダンスを受講します
- ホームステイを通じ、日常的に英語に触れて生活できます

オーストラリア／アデレード大学

- 少人数クラスで集中的に英語を学び、英語力を飛躍的に向上させます
- 関心のあるトピックに対しプレゼンを行うことで自身の考えを英語で相手に伝える力を養います
- ホームステイを通じ、海外の生活を体験します



7～10日間のプログラム

タイ／パンヤピワット経営大学

- 英語による講義を通じ、タイの経済や文化など、タイに関する幅広い知識を学びます
- 講義内容についてディスカッションを行います
- タイの現地企業や日系企業を訪問し、ビジネスの最先端に触れます

ベトナム／ダナン大学

- 英語による講義を通じ、ベトナムの経済や文化など、ベトナムに関する幅広い知識を学びます
- ベトナムの巨大ゴミ埋め立て場を訪問したり、現地学生とディスカッションを行います

台湾／国立高雄科技大学・台湾大学・政治大学

- 現地学生と双方の国の文化、社会についてディスカッションを行います
- 日本語、英語、中国語を使って、考え・調べ・まとめるプレゼンテーションスキルを養います

中国／復旦大学

- 現地大学での講義や現地在住の日本人ビジネスパーソンから講演を聞き、中国の生きた経済事業を学びます
- 上海の商業施設、日系企業訪問等を通じ、中国経済を多方面から考察します

現代は、ヒト・モノ・サービス・カネ・情報が国境を越えて行きかいます。目まぐるしく変わる社会情勢を的確に把握するためにはグローバルな経済的視点が必要不可欠です。その第一歩となるような、学部独自の留学プログラムを経済学部では展開しています。

参加学生×引率教員



3年次生
森脇 琉偉さん



国際経済コース
岸 慶一 准教授

GoLDプログラムの魅力とは？

GoLDプログラムに参加したきっかけは？

森脇 中学3年生のときに、2週間シアトルに留学したことがあり、その後も英会話を習っていたので、大学でも留学したいと考えていました。

岸 今回はオーストラリアのアデレード大学で5週間のプログラムに参加しましたね。

森脇 はい。5週間というまとまった期間であること、また動物が好きなこともあり、オーストラリアを選びました。

岸 アデレード大学での学び以外に、現地の文化を体験できることやホストファミリーとの交流もGoLDプログラムの特徴のひとつですが、日常的なコミュニケーションに問題はなかったですか？

森脇 大学で使う英語と日常会話は異なる点も多いと感じました。日常会話は学んだ文法のとおりではなく、話すスピードも速いので、はじめは戸惑いましたが、徐々に聞き取れるようになりました。

岸 そうですね。オーストラリアに到着したばかりのころと比べると、滞在期間を経てスムーズに会話ができるようになっていたことが私からも見て取れました。



プログラムで特に印象に残っている内容は？

森脇 海外諸国の経済について調べ、最終的に英語でプレゼンテーションする課題があったのですが、現地の先生からはさまざまなアドバイスを頂きました。文献をきちんと理解して自分の言葉としてまとめること、伝えたいことを明確にすること、発表する際の目線や姿勢、スライドの切り替えのタイミングまで、細かく丁寧に教えてくれて、感謝しています。

岸 私もそのプレゼンテーションを聞きましたが、発表者全員のスキルが上がっていて驚きました。学んだことをわかりやすく、さらに英語で正確に伝える訓練は、日本ではなかなかできない貴重な体験だと思います。経済学の講義についてはよく理解できましたか？

森脇 講義内容は大学での授業と大きな違いはありませんでしたが、専門用語が出てくると難しく感じました。経済学の基礎知識が不足していたことも一因だったと思いますが、講義前に予習を行い、自分なりに努力を重ねるうちに、知識が深まり、リスニング力も成長したと感じました。



参加して変化したこと、成長したことは？

森脇 もともと人前で話すことが苦手だったのですが、留学中にプレゼンテーションを複数回経験したことで、少し自信がついたと感じています。また、現地では全て英語でコミュニケーションを行っていたため、英語力も向上しました。

岸 ゼミでの発表を聞きましたが、テキストに書かれていないことも自分で調べて話し、とても能動的に取り組んでくれていました。現地での生活から学んだことはありますか？

森脇 オーストラリアの原住民の儀式やアデレードのビーチ、動物と触れ合える施設などを見学させてもらいましたが、現地の方は積極的に話しかけてくれます。はじめは驚いて話せない時もありましたが、だんだんと物怖じせずに接することができるようになりました。

岸 お店でもスタッフさんが日本より気軽に話しかけてくれるし、英語で会話する機会は自然と増えますね。

森脇 はい。また、ホストファミリーや同じ家にホームステイしていた中国系の学生が何かと気にかけてくれて、食事を作ってもらうこともあり。近所に暮らす中高生とも打ち解けることができ、大学以外でもたくさんの人に出会えました。

岸 日本での常識や感覚が通じず、苦労することもあったと思います。現地でしっかりと勉強し、さらに異文化に触れることで、語学力だけでなく、人間力を身に付けられることも、GoLDプログラムの魅力だと思います。



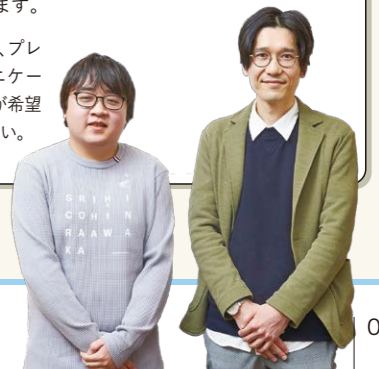
今後はどんな目標をもっていますか？

森脇 大学では、留学で学んだプレゼンテーション能力をさらに高めながら、自分が好きな経済理論の研究に力を入れていきたいです。

岸 海外の経済学の研究者は、私たちとは違う視点をもっているし、経済学の新しい文献も英語で書かれることがほとんどです。そういう意味では、今後大学で勉強を続けていく上でも、留学で得た経験がきっと生きてくると思います。卒業後の進路はイメージできていますか？

森脇 まだ具体的な職種までは決まっていないのですが、GoLDプログラムに参加したことで、海外勤務にも興味をもつことができ、将来の選択肢が広がったと感じています。

岸 海外で身に付けた国際的な視野、プレゼンテーションを含むコミュニケーション能力を生かして、森脇さんが希望するキャリアを築いていってください。



※上記は過去(2018年、2019年)のプログラム実績となります。留学先や期間などは変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください

社会的課題に向き合う

経済学部では、3年次よりゼミに所属し、少人数で研究内容を深めることができます。各々のゼミでは幅広いテーマを扱っていますが、ここでは地方創生やまちづくりなど、現在の社会が抱える課題に多様な方面からアプローチしているゼミを中心に紹介します。

後藤ゼミ

学生目線でSDGsを捉え オープンイノベーションにつなげる



高尾さんに聞きました！
ゼミナール Q & A

後藤先生からのメッセージ

▶ SDGsについての考察を企業の方々にプレゼンテーションしました

私たちは後藤ゼミで毎年取り組んでいる「SKIMA Project」※のテーマでもある「SDGsの達成」について研究しました。まずはゼミ全体でSDGsが設定された背景や、達成に向けた課題について調べました。その上で、複数の企業が情報を共有しながら社会的課題の解決に取り組むオープンイノベーションが、SDGsの達成には不可欠であると考え、それをまとめたものをAPIR(一般財団法人アジア太平洋研究所)で企業の方々にプレゼンテーションを行いました。

※SKIMA Project=ゼミ生が鹿児島県曾於市に1週間滞在し、地域の課題を調査し、政策提言につなげる後藤ゼミの取り組み。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年とは異なる取り組みを行った。



▶ 多様な意見を出し合う中で、SDGsの本質に気付きました

プレゼンテーションを行う際、ある企業の方から「もっと学生目線に立ってSDGsを考えてみては」とアドバイスをもらい、自分たちが実際に感じている社会の課題について話し合いました。経済や環境、教育、ジェンダーなど、19人のゼミ生の意見はバラバラでしたが、議論を深める中で例えば「経済を優先するために環境を犠牲にする」といった社会課題間のトレードオフをなくすことこそ、SDGsの根本的な意義であるという結論にたどり着きました。その研究結果をAPIRにてプレゼンテーションし、高い評価をいただきました。

Q. なぜ後藤ゼミを選びましたか？

A. ゼミ活動が学内で完結するのではなく、自治体や企業の方々とつながる機会がある点に魅力を感じました。また、伝統的にゼミ活動へ真剣に打ち込む学生が多く、切磋琢磨できる環境だと感じました。

Q. どのように企画を進めるのですか？

A. 同期のゼミ生全員が同じテーマについて研究します。オンラインツールも活用しながら、全員でほぼ毎日集まり、自由に意見を出し合いました。研究の方向性が見えてきたら、得意分野や個性に合わせて役割を分担し、チームで研究結果をまとめます。

Q. ゼミでの経験をどのように生かしていきたいですか？

A. SDGsについて掘り下げていく中で、大学卒業後も社会的課題の解決に携わりたいと思うようになりました。具体的な目標はまだこれからですが、お金や情報による支援だけでなく、なるべく直接的な関わり方ができる仕事に就きたいと考えています。

大学の枠を超えた本気の政策提言 プロジェクトが、地域経済を動かします

本ゼミでは、学生を主体とする実践的な政策提言型プロジェクト「SKIMA Project」を運営しています。このプロジェクトは鹿児島県曾於市と連携し、地域産業・経済の発展をめざすものです。学生は毎年、1週間の現地調査を行い、現実の発展・開発課題に向き合いながら考えを深め、問題解決へのアプローチ方法を探ります。市役所、市議会、企業、産業団体、さらには近隣の志布志市や都市市の関係者も巻き込む本気のプロジェクトですから、学生の言動にはとても大きな責任が伴います。

大学の枠を超えた本気の政策提言に対し、実際に自治体が動く。だからこそ、一切の甘えは許されません。

コミットメントに対する自主性・考動力・チーム力が問われ、頭だけではなく体を動かすプロジェクトです。こうしたゼミでの経験を通じて、ダイナミックなグローバル化社会を生き抜くための力を身に付けてもらいたいです。



国際経済コース
後藤 健太 教授

4年次生
高尾 隼司さん (後藤ゼミ所属)

ゼミ紹介

宇都宮 ゼミ

地域の血流ともいえる交通から、まちづくりを考えます

▶ 先進的な交通プロジェクトやまちづくりの事例を視察

地球温暖化、少子高齢化、訪日外国人の増加といった現代日本の状況を踏まえたうえで、まちを活性化する方策を考えます。本ゼミの特徴は、交通を切り口にまちづくりを考えること。ゼミ生は自ら各地の視察に出かけ、地元の交通事業者や商店街、役所などを対象にヒアリングを行い、現状把握と分析を進めます。これらのフィールドワークを通して、問題解決能力を身に付けることも重視しています。また夏季休業の期間中には、少し足を延ばしてゼミ生たちと視察旅行を実施。これまで、LRT※(次世代路面電車)の導入でコンパクトシティ戦略を進める富山市や、鉄道会社と連携してまちの活性化を図る福井市などを訪ね、理解を深めました。



※Light Rail Transit

経済政策コース
宇都宮 浄人 教授

本西 ゼミ

自治体が抱える課題を経済的視点から研究、政策を立案します

▶ フィールドワーク主体の調査で実社会と関わる

地方自治体の政策をテーマに、実現可能な政策立案に取り組んでいます。例えば「放置自転車問題」「高齢者の免許返納促進」「保育士の労働問題」など、自治体が実際に直面している課題を選び、フィールドワークを行います。また、子どもの金融教育について研究を進めるチームは、小・中学生を対象に金融に関するミニ講義を行い、社会貢献活動につなげました。

経済学部のゼミで重要なのは、数字で根拠を示すこと。アンケートの実施や関係者へのインタビューを通して集めた独自の情報を冷静に分析して、結果を誰にでもわかるように発信するプロセスを学んでほしいと思います。



経済政策コース
本西 泰三 教授

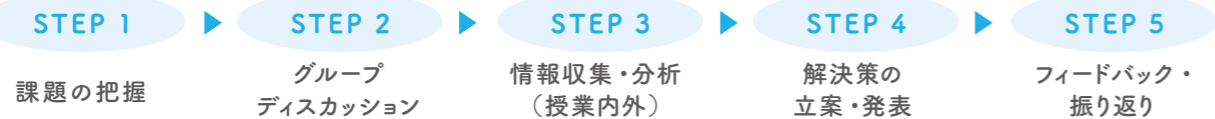
PBL教育



経済学ワークショップ

経済学部生全員が1年次春学期に履修する「経済学ワークショップ」では、グループで課題解決に取り組むPBL教育(Project-Based Learning)を導入しています。PBL教育では課題解決の方法を自分たちで一から主体的に考え、解決策を発表。グループワークの中で、ノートテイキングやプレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などの基礎的スキルを身に付けながら、社会で役立つ基礎能力を養います。

少人数クラス制の実践的な学びで、主体的な課題解決スキルを身に付けます



参加学生 × 担当教員

2年次生
山内 乃々 さん

グループディスカッションの魅力とは？

国際経済コース
土居 潤子 教授

土居 経済学ワークショップでは、大学で学ぶための基礎力を身に付けてもらうことを目標としています。はじめは特に経済学に関する知識が求められるテーマについて議論し、自由に意見を出したり、柔軟に考える訓練を積んでほしいと考えています。

山内 グループディスカッションでのテーマには「小学生から高校生までの子どもたちが、公園で30分間一緒に遊ぶ方法を考える」というものもありました。グループメンバーからは、鬼ごっこやかくれんぼといった意見が出ましたが、運動能力の差を埋めるハンデや、平等に楽しめるルールをきちんと提示しないと、抽象的すぎてグループの意見としてまとまらないことに気がきました。

土居 まだ慣れないうちは結論に具体性がないこともありますが、「これでは解決につながらない」と自分たちで気付くことも大切な経験です。そこから具体的に考えるという意識が芽ばえ、将来の学びにつながっていきます。

山内 確かに、主観的であいまいな意見は反論されると弱いことに気がきました。グループディスカッションを何度かこなすうちに、フィーリングではなく根拠を意識した理由や主張を考えるようになりました。

土居 グループのメンバーは積極的に話せる人ばかりとは限りませんが、議論が盛り上がらないときはどのように工夫しましたか？

山内 そのような場面もありましたが、質問を投げかけてみたり、テーマをもう一度確認したり、なるべく自分から声をかけて、能動的に発言ができる環境づくりを意識していました。また、グループに積極的に発言してくれる人がいるときは、議論の展開の仕方を観察したり、自身で架空のグループメンバーを想像しながら、客観的に意見を見直すこともありました。

土居 素晴らしいですね。仮に自分の意見が出せないとしても、メンバーの意見に対して「共感する・しない」だけでも伝えることができれば、そこから「なぜそう思うのか」と次のステップに進めることもあります。今後はどういったことを学んでいきたいですか？

山内 まずは経済学において基礎的な考え方であるミクロ・マクロ経済学といった理論を深く学んでいきたいと考えています。

土居 2年次以降も、あらゆる科目で主体的な発言が求められます。経済学ワークショップで身に付けたディスカッションのスキルをさらに伸ばして、実りの多い学生生活を送ってください。

ゼミナール大会



第56回経商合同学内ゼミナール大会を開催

経済学部・商学部が合同で行っている学術大会です。さまざまなゼミから学生たちがチームを組んで参加し、約1年間にわたって学んできた研究成果の集大成を披露します。56回目を迎えた2020年度は、各ゼミから選ばれた代表チームが参加するプレゼンテーション部門が開催されました。年に一度の貴重な機会を生かし、学生間でも積極的な意見交換がなされるなど、大会は大いに盛り上がりしました。

参加した
学生の声

発表テーマ 「マインドフルネス」は企業にとって有益か否か？



4年次生
松本 泰斗 さん
(中川ゼミ所属)

自らの経験をもとに、マインドフルネスと企業の生産性について考えました

企業がマインドフルネスを導入することで期待される効果や、業績に与える影響を分析しました。マインドフルネスとは、目の前のことに集中できている状態、その取り組みを指します。私も高校時代に実践し、集中力が高まりストレスが緩和された経験があったことから、発表のテーマとして提案しました。日本では一部大手企業で導入されているものの、社会全体にはなかなか浸透していません。そこで私たちは1,593社にアンケートを送付し、国内での普及度を調べ、加えて導入済みの企業については詳しい実践方法や効果をリサーチしました。回答のあった170社について分析した結果、マインドフルネスと企業の生産性には、正の因果関係があることがわかりました。その結果を企業にフィードバックしたところ「導入を検討したい」という意見も寄せられました。分析の手法や信憑性については改善の余地がありますが、より多くの企業にマインドフルネスの効果を知ってほしいと思います。



学内ゼミナール大会にて優勝しました▶



4年次生
河野 峻也 さん
(中川ゼミ所属)

アンケート結果や企業データの解析を通して、因果関係を実証しました

研究の過程では、日本の大手IT系企業にマインドフルネスを導入した第一人者の方に直接話を伺う機会に恵まれました。具体的なプログラムや生産性向上につながったデータを示していただいたことで、私たちが立てた仮説に対する自信をもつことができました。グループの中では、主にデータ解析を担当しました。マインドフルネスの効果をより客観的に分析するため、アンケートへの回答があった170社の株価や営業利益の推移を調べ、さらに東証株価指数や従業員数、資本金といった数値を変数として組み込むことで、より正確な因果関係を探りました。集計したところ、マインドフルネスを導入している企業の営業利益は4%、株価は36%上昇するという結果が出ました。膨大な数のデータを収集・分析することには時間と手間がかかりましたが、学内外の大会で研究結果を発表し、高評価を頂くことができました。卒業論文では本テーマをより深く研究し、論文賞をめざしています。

企業へのアンケート結果を集計・分析したプレゼン資料▶

項目	調査数(調査率)	導入数(導入率)
全体	170	21
上場企業	28 (16.4%)	5 (17.8%)
従業員数	47 (27.6%)	5 (10.6%)
従業員数	10 (11.1%)	4 (21.0%)
売上高	36 (21.1%)	2 (5.5%)
売上高	13 (7.6%)	4 (30.7%)
その他	27	1

ゼミ紹介

藤中 ゼミ

マッチング理論を用いて課題解決につなげます

▶ アルゴリズムを構築しミスマッチの解決をめざす

より適切な組み合わせ(マッチング)とは何かを分析する「マッチング理論」を使って、さまざまな制度や組織、そしてそれらの中での人間の行動などを分析し、より良い制度や仕組みについて考えます。「婚活パーティーにおいて参加者がより満足できるカップリング方法」を研究したグループは、実際にどのようなルールでマッチングが行われているかを調べ、ミスマッチが起りにくいアルゴリズムを研究し、その成果をまとめた論文が学内の大会で最優秀賞を受賞しました。ゼミではテーマ選びから授業の進め方まで、なるべく学生の自主性に任せています。グループで自由に話し合う中で、身近なところから制度におけるミスマッチや課題を見つけ出し、マッチング理論をベースに課題解決につなげていく力を養います。



産業・企業経済コース
藤中 裕二 准教授

中川 ゼミ

ファイナンス論を通じて日本の経済問題を考えます

▶ 社会に出てから役立つ企業金融の知識を習得

「ファイナンス論」と呼ばれる経済学の中で、「企業金融論」という分野を扱います。例えば「わが社はどうすれば銀行からお金を借りられるのか」という課題の解決法や、逆の立場から見れば「どの企業にお金を貸し付ければ地元経済を活性化できるのか」といった、将来に役立つ内容を学びます。ゼミでは金融に特化した新聞・テキストを使って基礎を学習し、証券取引所などの見学も行います。さらにグループ研究、プレゼン大会への参加、卒業論文の作成までを一貫して行うことで、問題解決能力、自己表現能力、文章作成能力を養います。これらの活動を3年次末までに終え、その実績をもって就職活動に臨めるようにしています。



産業・企業経済コース
中川 竜一 教授

学びのプロセス

経済学部では、経済学を読み解く基本ツールの確実な習得、論理的な思考力の養成、問題の分析と解決能力の習得をめざしています。1・2年次で経済学の基礎能力を習得したうえで、3年次以降は各々の関心と目的に沿って、4つのコースに所属し、学びを深めます。



※このカリキュラムは2021年度入学生用です。一部科目は変更される可能性があります。

経済学部

学びダイジェスト

学生が主体的に学べる環境が整っていることが経済学部の特徴です。

経済学への興味を高め、4年間を通じ各々の関心に応じた学修をしっかりとサポートします。

1年次 入門的な科目を通して経済学の基礎知識を取得

身近なテーマを通して、経済の仕組みを理解します

1年次では経済学部で学ぶための基礎を身に付けます。ミクロ・マクロ経済学など基礎知識の習得のみならず、ポイントアプリやカードといった企業のリピーター獲得戦略、コロナ禍以降の株価や景気の予測など、大学生にとって身近なテーマに触れ、お金の流れや社会の仕組みについて学べる点が面白いところだと思います。今後は国際関係を研究するゼミに進んで、さまざまな国の経済問題について学び、自分の視野を広げたいと思っています。



2年次生
佐藤 愛華さん

2年次 基本科目を中心に、体系的な学習を実現

将来の目標に向け、より専門的な学びを深めます

「人的資源論」の講義では、日本学んでいます。実力主義が根付くア功序列の企業文化、同一企業に勤ンティブについて考えます。2年次かになります、その分しっかりと準備の仕組みを知ることの楽しさを感じた。金融についての知識を深め、将来幅広い知識をもった教員にな



3年次生
岡田 充司さん

3・4年次 4コースへの所属、少人数のゼミで専門性を追求

マーケティングを実践的に学ぶため、商品開発と販売に取り組みました

フィールドワークを通してマーケティングを学ぶゼミに所属しています。私たちのグループは、野菜・果物の消費拡大をテーマに、30社ほどの企業にヒアリングを実施した上で、サラダ・ジュース専門店の方とともにコールドプレスジュースの商品開発と販売を行いました。購買層を意識して価格を設定するなど、商品開発と販売の難しさを実感しましたが、無事に目標販売数を達成。その結果を学外の大会で発表し、所属ブロックで優勝することができました。



2021年3月卒業
内藤 愛さん

キャリアデザイン

就職率

98.3%

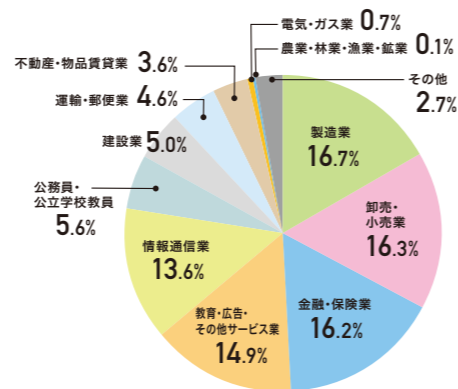
男子

98.4%

女子

98.1%

2020年度
業種別
就職状況



経済学部の卒業生は、メーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な分野に就職しています。本学はキャリア支援に力を入れており、毎年750社以上の企業を学内に招きセミナーを実施しています。業界・企業研究セミナーに加え、一次選考も含めて学内で実施する単独企業セミナーなど、学生の興味・関心の幅を広げるプログラムを取り揃えています。

就職先の一例（2020年度実績）

製造業	アース製薬、伊藤園、エステー、岡山村田製作所、オムロン、キーエンス、京セラ、神戸製鋼所、小林製薬、セイコーエプソン、積水化学工業、大日本印刷、ダイフク、椿本チエイン、東芝テック、東リ、東和薬品、凸版印刷、ニチコン、日清食品ホールディングス、日本電気、日本ハム、日本たばこ産業、パナソニック、日立造船、福井村田製作所、フタバ産業、古河電気工業、プリマハム、マキタ、三菱電機、ミルボン、山崎製パン、ヤマハ発動機、ユニチカ、ライオン、ローム など	情報通信業	京都放送、テレビ山口、内田洋行、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、エムティーアイ、コベルシステム、JR東日本情報システム、ソフトバンク、TIS、東映、西日本電信電話、日本ユニシス、東日本電信電話、日立ソリューションズ・クリエイト、富士通、富士通Japan、楽天グループ など
卸売・小売業	伊藤忠食品、因幡電機産業、岩谷産業、岡崎産業、オンワード樺山、近鉄百貨店、国分西日本、シャープマーケティングジャパン、セブン-イレブン・ジャパン、瀧定名古屋、天満屋、ホシザキ阪神、三菱商事RtMジャパン、メディセオ、山善、ユアサ商事 など	建設業	住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業 など
金融・保険業	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほフィナンシャルグループ、関西みらい銀行、京都銀行、滋賀銀行、中国銀行、西日本シティ銀行、百十四銀行、広島銀行、北陸銀行、りそなホールディングス、三井住友信託銀行、三菱UFJ信託銀行、住友生命保険相互会社、東京海上日動あんしん生命保険、日本生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、SMBC日興証券、みずほ証券 など	運輸・郵便業	阪急電鉄、近鉄エクスプレス、JR東日本ステーションサービス、ニチレイロジグループ本社、日本通運、日立物流 など
教育・広告・その他サービス業	アクセンチュア、エイベックス、エン・ジャパン、独立行政法人国立病院機構、阪急阪神ビルマネジメント、阪急阪神ホテルズ、阪神高速道路、星野リゾート、マイナビ など	電気・ガス業	四国電力、中国電力 など
		不動産・物品賃貸業	JR西日本不動産開発、住友不動産販売、東急リバブル、長谷工ライブネット など
		公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、財務専門官、大阪府教員、京都府教員、大阪市職員、大野市職員、加古川市職員、香芝市職員、吹田市職員、南越前町職員、西宮市消防吏員 など

※原則として業種別、50音順で記載しています

卒業生からのメッセージ

経済学部の卒業生は、国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を活かし、幅広いフィールドで活躍しています。

先輩方から、現在のキャリアに在学中の学びがどのようにつながっているかを教えてもらいました。

ビジネスにおいて欠かせない視点は、経済学にて養われたと実感しています



アマゾンジャパン 合同会社

2012年3月卒業
北山 綾真さん

新規の販売事業者様の開拓と販売サポートを担当

卒業後は証券会社で金融商品を取り扱っていましたが、小売業にとどまらず多様なサービスや技術を生み出しているAmazonに魅力を感じ転職しました。現在は「地球上で最も豊富な品揃え」という企業理念の実現に向けて、事業本部にて品揃えのさらなる拡大をめざしています。ビジネスには常に大局的な視点と局所的な視点の両方が重要であり、学部で学んだマクロ経済とミクロ経済が、マーケティングのベースになっていると感じています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 マクロ経済学・ミクロ経済学を学ぶ
お金の流れや市場のメカニズムに興味をもちました
- 3年次 ゼミで統計を学び、株式市場を分析
ゼミで統計学を深く学び、チャート分析を実施しました
- 4年次 卒業論文の作成に没頭
SNSの展望について卒論を作成し、仮説検証能力を磨きました

ゼミ活動で培ったプレゼンテーション能力が仕事に活かされています



田辺三菱製薬 株式会社

2019年3月卒業
樋口 加奈さん

MRとして診療所や病院、薬局が200件ほどあるエリアを担当

医療関係者に自社製品の紹介や医療情報を提供しています。自社製品を診療の一助としていただいた先生から感謝の言葉を頂いたり、自身の活動が最終的に患者さんへの貢献につながるそれがMR職の魅力です。在学中はゼミ活動を通して、地域経済に関する知識や、自ら考え行動する力、プレゼンテーション力を身に付けました。現在、患者さん一人ひとりに応じた治療提案を行う中で、在学中の経験が役立っています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
経済学の基礎となる知識と考え方を身に付けました
- 3年次 ゼミ活動の一環で現地調査を行う
社会の仕組みを知るために工場見学などを行いました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
「日本の医療と先発医薬品企業」をテーマに、医療現場の現状をまとめました

留学経験をきっかけに将来につながる旅行体験を提案できる仕事を選びました



株式会社JT B

2019年3月卒業
松井 亜美さん

修学旅行などの企画提案と添乗、アフターフォローを担当

高校に向けて、修学旅行や校外学習などの企画提案を行っています。この仕事を選んだのは、在学中のカナダ留学がきっかけです。さまざまな国の人々との交流を通じて異文化に触れる楽しさを感じ、いろいろな国を旅行するようになりました。この経験から、学生の皆さんに将来へつながるような旅行体験を提供したいと思い、教育旅行の営業職を志望しました。現在も企画提案を行う際には、ゼミで培った分析力、論理的思考力を活かしています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
経済学の視点から社会を考えるための基礎を習得しました
- 2年次 カナダへ語学留学
多様な国籍の人々と交流し、視野と知見が広がりました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
「グローバル経済下における外国人労働者の推移」について研究しました。

在学中に現場の声を聞いた経験が、現在の仕事につながっています



関西テレビ放送 株式会社

2012年3月卒業
泉谷 賢一さん

記者として報道局報道センターに勤務

事件や犯罪、自治体の取り組み、地域の最新の話題など、さまざまな情報を集めて取材を行い、得た情報を視聴者に伝えています。この仕事をめざした理由は、何かに困っている人の悩みや状況を、電波を通して多くの人々に訴えかけることができると考えたからです。在学中はゼミ活動を通して実際に商店街などを訪ね、街の方々と話を聞くことの大切さを学びました。記者という職業の基本も、現地に行って取材をすることであり、大学時代の経験が今に直結していると実感しています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
世の中の経済の動きについて、興味をもちました
- 3年次 全国プレゼン大会に出場
地域経済をテーマに地元の商店街を取り上げ、店舗に話をうかがいました
- 4年次 卒業論文の作成に集中
「障がい者の雇用」をテーマに、ヒアリングをしながら研究しました